



一般社団法人日中化粧品国際交流協会 Japan-China Cosmetic Exchange Association

〒650-0045 兵庫県神戸市中央区港島南町 5-5-2 神戸国際ビジネスセンター TEL :81-78-381-5304 FAX :81-78-303-3077

<http://www.cosmo-jc.org>

2023年5月17日、日本と中国の化粧品業界が交流する特別なイベントが横浜ベイホテル東急で開催され、中国会員約90名を含め、日中総勢180名以上の会員が一堂に会し、盛況のうちに終了しました。

講演会の冒頭で日中化粧品国際交流協会理事長楊建中は、コロナ禍の交流活動を回顧し、来場者に向けて日中交流から日中共創へと提唱し、日中共創の実践例としてヘアケアブランドORを紹介しました。続いて「国際商業」の長谷川隆編集長、中国化粧品業界メディア「青眼」の李惠華編集長がそれぞれ日中化粧品市場の動向および最新話題について紹介しました。さらに、協会の専門家委員会委員である岡山理科大学の安藤秀哉教授、ポーラ化成工業株式会社フロンティアリサーチセンターの主任研究員五味貴優氏は、美白及びシワ改善の技術開発を支える肌研究の成果を紹介しました。そして、諾斯貝爾化粧品股份有限公司、雲南白藥集團健康產品有限公司、浙江清華長三角研究院、(株)マツモト交商の代表はそれぞれ中国化粧品のイノベーションの現状および日中化粧品原料の動向について、最後に中国法規代理申請・届出機構のOCI社代表は日本企業が高い関心を持つ中国法規にスポットを当て、「中国化粧品新原料の最新コンプライアンス分析および日本原料の好機」について講演しました。



楊理事長講演時の様子

会の終盤では、日中化粧品交流貢献賞の授賞式が執り行われ、様々なスタイルで日中間の交流促進に貢献した20社に銅賞、銀賞、金賞、プラチナ賞が授与されました。



プラチナ賞を受賞された株式会社ポーラ・オルビス・ホールディングス、長瀬産業株式会社、雲南白薬集団健康産品有限公司

講演会終了後にはコロナ後初の懇親会が開かれ、対面でのコミュニケーションの大切さを再認識し、皆が自然体で気軽な雰囲気の中でコミュニケーションが活発に行われました。



懇親会で「日中共創」の明るい未来を語る楊理事長（左）と広州樊文花董事長（右）

講演会の前後には中国会員をお連れし、ビューティワールドジャパン東京とCITE JAPANを視察しました。日中化粧品交流イベントは、日本と中国の化粧品業界の関係を強化し、双方の最新トレンドや技術を共有する貴重な機会となりました。日中化粧品国際交流協会は今後も、日中間の化粧品交流をさらに進展し、両国の化粧品業界の発展に寄与していくため尽力してまいります。



CITE JAPAN 出展日本会員企業ブースを視察する中国会員

ビューティワールドジャパン東京を視察する中国会員

